

# 2021年 お勧め開発環境 VS Code

第3回 ラズパイのリモート開発が便利になる拡張機能  
Remote Development

山田 英伸

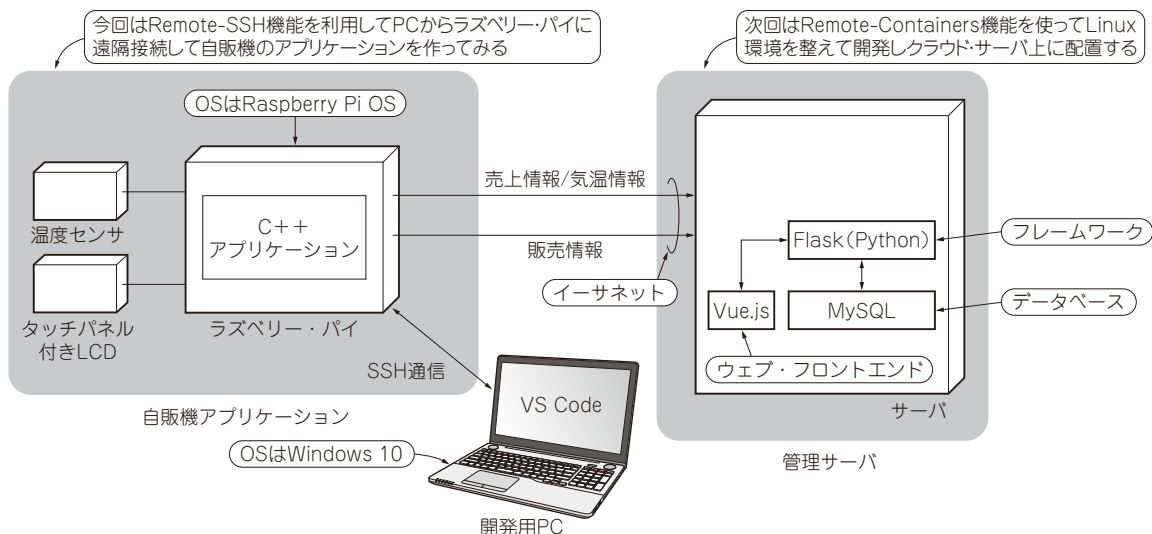
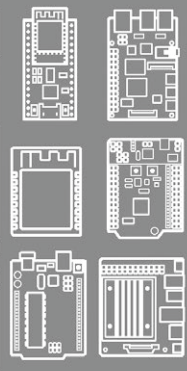


図1 ラズベリー・パイやサーバ上のプログラム開発がWindows PCを使ってネットワーク越しにできる

テキスト・エディタとして有名なVisual Studio Code (以降VS Code)ですが、開発環境としても優れており、多くの場面で使われるようになってきています。

VS Codeにはさまざまな拡張機能を足すことができます。今回は組み込み開発でも注目されているRemote Developmentという拡張機能を紹介します。

これは名前の通りリモート開発を便利にしてくれるものです。ローカル側とリモート側でOSが違っていても、VS Code経由でファイルの編集やシェルの操作ができるようになります(図1)。

他にもWindows Subsystem for Linux (WSL) や、Docker コンテナに接続して操作ができます。

リモート・ホストを操作しているのに、それを感じさせません。使い慣れたOS上で動く手元のVS Codeだけを操作している感覚で使えるので、開発に集中できる良い環境と感じています。

今回は、ラズベリー・パイ4とタッチ・パネル付きLCDとを組み合わせ、飲料などの自動販売機を模

したグラフィカル・ユーザ・インターフェースの開発を例に、Remote Developmentを使った、快適なラズベリー・パイの開発環境を紹介します。

本記事は、Windows 10 (Windows 10 May 2020 Update) の環境で動作を確認しています。

## PCからのリモート開発におすすめ! Remote Development

Remote Developmentは、VS Codeに用意された以下の3つの拡張機能をまとめた名称です。

- Remote-SSH
- Remote-WSL
- Remote-Containers

これらは個別にインストールすることもできますが、拡張機能としてRemote Developmentを選択することでまとめてインストールされます。それぞれの機能については後述します。